

1. 科目名 (単位数)	音楽基礎Ⅱ (2単位)	3. 科目番号	JNNT2111
2. 授業担当教員	松本 岳志		
4. 授業形態	講義及び演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	音楽基礎Ⅰを終えていること。		
7. 講義概要	保育および幼児教育に携わる者にとって必要とされる音楽の基礎的知識および演奏技術について、音楽基礎Ⅰで学んだこと、身に付けた技術を更に深化させていきます。特に、ピアノ演奏と弾き歌いの技術は、常に継続して練習を行うことが重要です。少しでも高い技術を身に付けるとともに、演奏可能なレパートリーを増やしていきます。演奏技術の面では教育実習や採用試験に対応できるレベルまで上達することを最終目標とします。		
8. 学習目標	1.音楽の基礎理論(楽典)を理解し、楽譜の読み書きが自由にできるようにする。 2.ピアノ演奏および弾き歌いの基礎的技術を習得する。 3.歌唱法の基礎的技術を習得する。		
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	1. 毎回楽典の練習問題とピアノの練習課題等を出します。 2. ピアノ演奏および弾き歌いの発表を実施します。		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽基礎Ⅰで使用した教科書を継続して使用する。 <p>【参考書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中・四国地区学会編著『歌う、弾く、表現する保育者になろう』保育士・幼稚園教諭養成テキスト 全国大学音楽教育学会、音楽之友社。 ・小林美実監修『こどものうた200』チャイルド本社。 ・小林美実監修『続こどものうた200』チャイルド本社。 <p>【教材】※各自で必ず購入しておくこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘッドフォン ・6.3mmジャック(先端が3.5mmジャックの場合、ステレオ変換ジャックが必要) 		
11. 成績評価の基準と評定の方法	<p>●成績評価の基準</p> <p>1.音楽の基礎理論(楽典)を理解し、楽譜の読み書きが自由にできるようにする。 2.ピアノ演奏および弾き歌いの基礎的技術を習得する。 3.歌唱法の基礎的技術を習得する。</p> <p>●評定の方法</p> <p>実技 50%、 楽典 30%、 授業への取り組み姿勢 20%</p>		
12. 受講生へのメッセージ	ピアノ演奏や歌唱のような実技は、一夜漬けで習得できるようなものではなく毎日地道に練習を積み重ねていくことが重要です。必ず、短時間でも構わないので毎日ピアノに触れるよう心がけて下さい。将来、教育・保育実習や採用試験などでピアノ演奏や弾き歌いの技術が必ず必要になりますが、人前でその実力が発揮できなければ意味がありません。どんなに緊張しても心を平静に保って普段通りの演奏できるようにするのは、演奏技術を身に付ける以上に困難なことです。地道な練習と経験以外に、近道はないと思って下さい。		
13. オフィスアワー	初回授業のオリエンテーションにおいて通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	ピアノ演奏レッスン：初級者：バイエル No. 66 弾き歌いレッスン：初級者：朝の歌 中・上級者：世界中のこどもたちが 楽典(音名：日本)	事前学習	音楽基礎Ⅰで学習した内容を復習しておく。
		事後学習	課題曲の練習。日本の音名について理解し暗記すること。
第2回	ピアノ演奏発表：初級者：バイエル No. 66 弾き歌い発表：初級者：朝の歌 中・上級者：世界中のこどもたちが 楽典(音名：英語)	事前学習	課題曲の発表に向けて練習を重ねておく。
		事後学習	英語の音名について理解し暗記すること。
第3回	ピアノ演奏レッスン：初級者：バイエル No. 73 弾き歌いレッスン：初級者：やまのおんがくか 中・上級者：ふしぎなポケット 楽典(音名：幹音と派生音)	事前学習	課題曲の練習をしておく。
		事後学習	音名について復習するとともに派生音の音名について暗記すること。
第4回	ピアノ演奏発表：初級者：バイエル No. 73 弾き歌い発表：初級者：やまのおんがくか 中・上級者：ふしぎなポケット 楽典(長音階)	事前学習	課題曲の発表に向けて練習を重ねておく。教科書 p. 59 を読んでおく。
		事後学習	長音階について復習しておくこと。
第5回	ピアノ演奏レッスン：初級者：バイエル No. 78 弾き歌いレッスン：初級者：おはようのうた 中・上級者：あわてんぼうのサンタクロース 楽典(短音階：自然短音階)	事前学習	課題曲の練習をしておく。
		事後学習	自然短音階について復習しておくこと。
第6回	ピアノ演奏発表：初級者：バイエル No. 78 弾き歌い発表：初級者：おはようのうた 中・上級者：あわてんぼうのサンタクロース 楽典(短音階：和声および旋律短音階)	事前学習	課題曲の発表に向けて練習を重ねておく。
		事後学習	和声および旋律短音階について復習しておくこと。

第7回	ピアノ演奏レッスン：初級者：バイエル No. 88 弾き歌いレッスン：初級者及び中・上級者：ジングルベル 楽典（調性：長調）	事前学習	課題曲の練習をしておく。教科書 pp. 60-62 を読んでおく。
		事後学習	調性について復習しておくこと。
第8回	合唱および合奏練習 楽典（調性：短調）	事前学習	楽譜を事前に読んでおく。
		事後学習	調性について復習しておくこと。
第9回	ピアノ演奏発表：初級者：バイエル No. 88 弾き歌い発表：初級者及び中・上級者：ジングルベル 楽典（調性：調号）	事前学習	課題曲の発表に向けて練習を重ねておく。教科書 pp. 63-65 を読んでおく。
		事後学習	調号について復習しておくこと。
第10回	ピアノ演奏レッスン：初級者：バイエル No. 91 弾き歌いレッスン：初級者及び中・上級者：お正月 楽典（調性の復習）	事前学習	課題曲の練習をしておく。
		事後学習	調性および調号についてまとめておくこと。
第11回	ピアノ演奏発表：初級者：バイエル No. 91 弾き歌い発表：初級者及び中・上級者：お正月 楽典（移調と転調）	事前学習	課題曲の発表に向けて練習を重ねておく。教科書 p. 67（下）を読んでおく。
		事後学習	移調と転調について復習しておくこと。
第12回	ピアノ演奏レッスン：初級者：バイエル No. 104 弾き歌いレッスン：中・上級者：思い出のアルバム 楽典（近親調）	事前学習	課題曲の練習をしておくこと。教科書 p. 67 （上）を読んでおく。
		事後学習	近親調について復習しておくこと。
第13回	ピアノ演奏発表：初級者：バイエル No. 104 弾き歌い発表：中・上級者：思い出のアルバム 楽典（これまでの総復習）	事前学習	課題曲の発表に向けて練習を重ねておく。
		事後学習	これまで楽典で学んだ範囲を復習しておく こと。
第14回	弾き歌いレッスン：初級者：さよならのうた 中・上級者：一年生になったら	事前学習	課題曲の練習をしておく。
		事後学習	課題曲の発表に向けた練習を重ねておく。
第15回	弾き歌いの発表：初級者：さよならのうた 中・上級者：一年生になったら	事前学習	課題曲の発表に向けた練習を重ねておく。
		事後学習	将来に向けて演奏技術の向上を図ること。